

教材4・(1)

《てびき》 説明的文章を読む力をつけるには

説明的文章は、それぞれの文章の書かれ方の特徴をふまえながら、書き手(筆者)が一番言いたいことを正しくつかみ、それに対して自分が何を考えたかをまとめるような練習を重ねることで、読んで考える力がだんだんとついてきます。

《ポイント》

1 文章全体の話題をつかむ

「こんなところを気にしてみよう！」

「…について考えを述べます」と書いてあれば、はっきり分かりますね。

「…のはなぜだろう」という問いかけ表現も、その文章での話題を示しています。
繰り返し出てくる語句(キーワード)にも注目です。

2 形式段落ごとの内容を読み取る

各段落の中心となる文を見つけられるかな？必要に応じて、線を引きながら読んでみよう。

3 文章全体をいくつかの意味段落に分ける

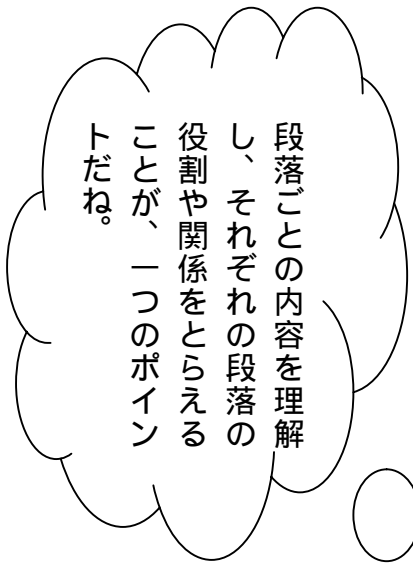
いくつかの意味段落に分けるには？

形式段落ごとの話題が共通していたり、続いていたりしている。
キーワードが共通している

4 意味段落の役割や関係を考える

意味段落の役割には次のようなものがあります。

話題を提示している。



分かりやすくするために、具体例を出して説明している。
ちがいがはっきりするように、いくつかのものを比べて示し説明している。
原因や理由・根拠を示している。
もっとも伝えたいこと(結論や主張)を述べている。
段落の役割やそれぞれの段落の関係をとらえるために…
接続語に注目し、話題が変わったり、具体的な例を示したりしていることをつかもう。
指示語の内容を正確にとらえ、文と文、段落と段落の関係をつかもう。

5 文章全体の組み立てを考え筆者の一番伝えたいことをとらえる

説明的な文章の組み立てにはいくつかのパターンがあります。
はじめに結論や主張を述べ、その後具体的に理由や理由、説明を述べるパターン。
はじめに具体例や理由、説明を述べ、最後に結論や主張を述べるパターン。
はじめと終わりに結論や主張を述べ、その間に具体例や理由、説明を述べるパターン。
その文章での話題について、もっとも伝えたいことが書かれているのはどこ？

6 読んで感じたことや考えたことをまとめて書いてみる

自分の考えを書いてまとめることに慣れてくると、読むことを通して、文章で話題にしていたことと、それに対する筆者の考えを参考にしながら、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようになりますよ。

